

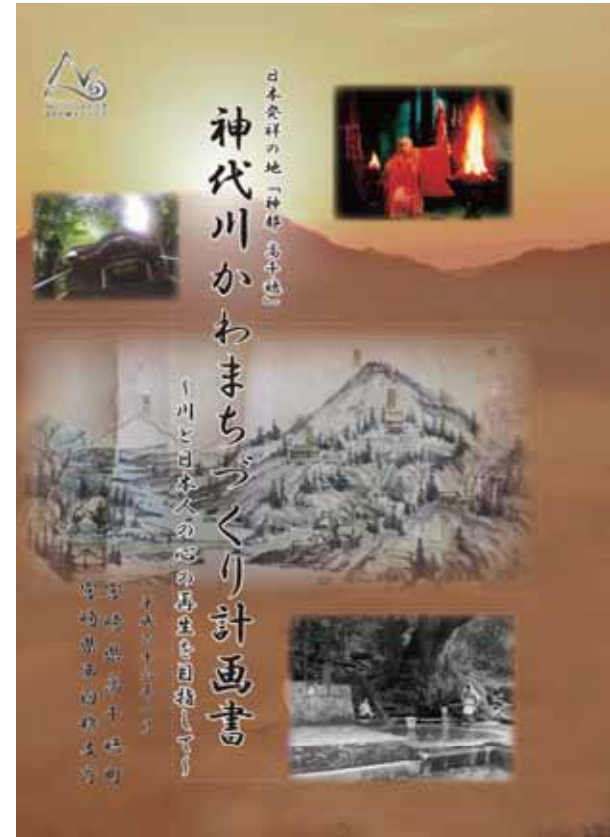
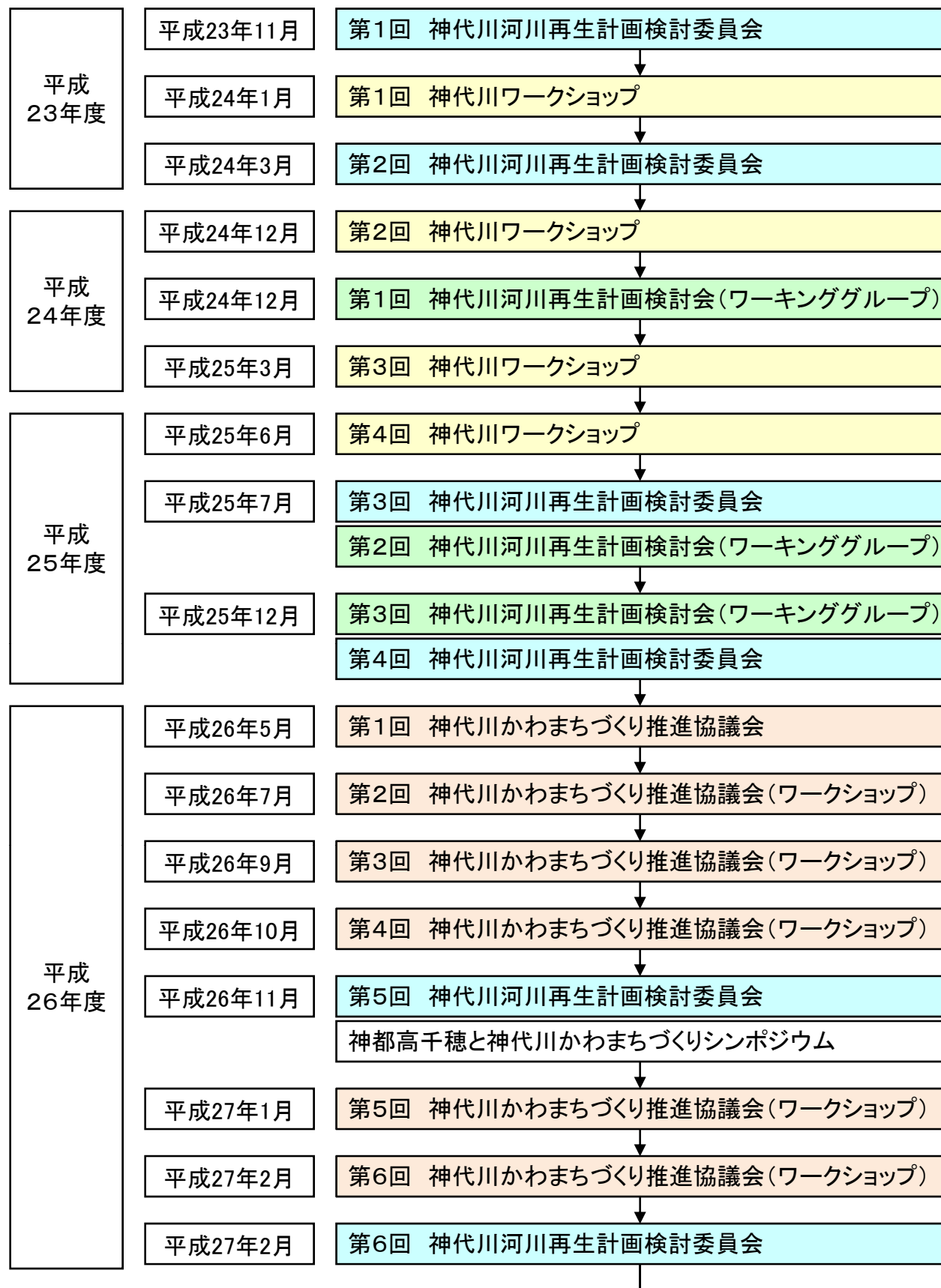
第8回 神代川河川再生計画検討委員会

資 料

1 . これまでの経緯	1
2 . 前回検討委員会で出された課題対応状況	4
3 . 水理模型実験に基づく流下能力検討結果	別紙
4 . 細部デザインの決定・検討	6
5 . 神代川の河川環境について	14
6 . 今後の予定	16

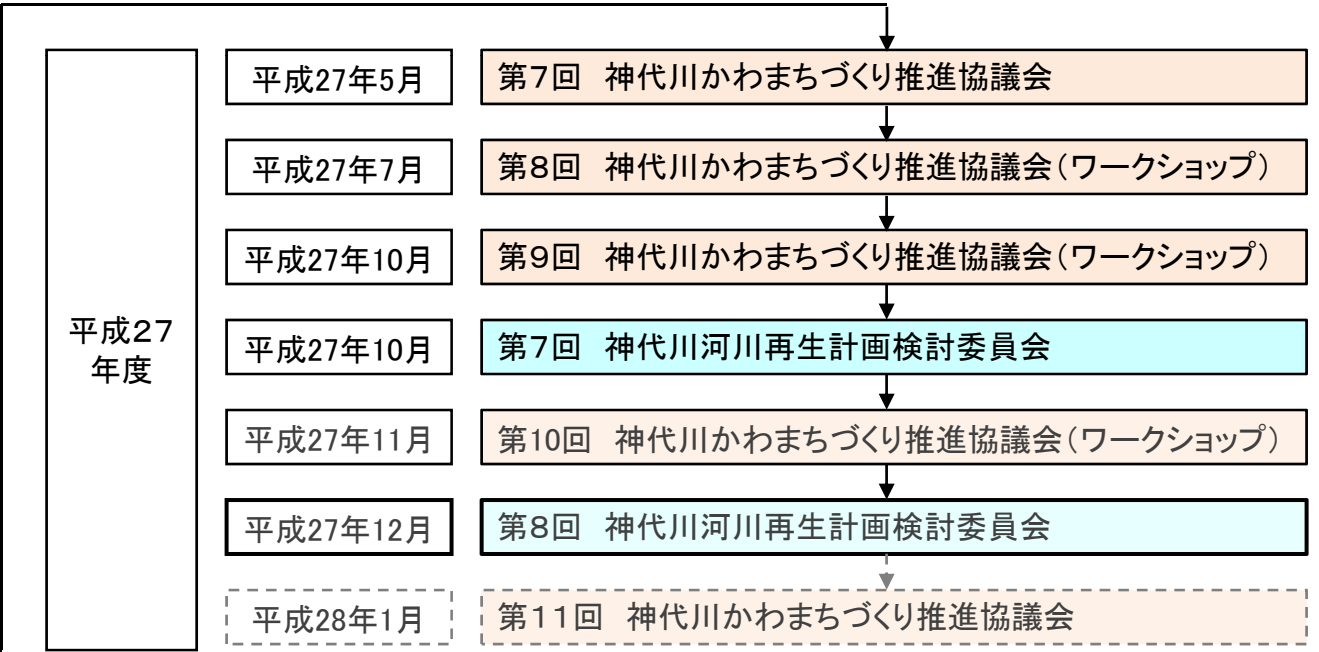
1. これまでの経緯

神代川かわまちづくり計画に関わる検討委員会等開催状況



神代川まちづくり計画書作成(平成26年1月)

「かわまちづくり」支援制度に係る計画登録(平成26年3月)



1. これまでの経緯

神代川かわまちづくり計画に関わる検討委員会等における検討内容 (1 / 2)

年度	検討会名	実施日	概要	備考
平成23年度	第1回 神代川河川再生計画検討委員会	平成23年11月22日	<ul style="list-style-type: none"> 河川再生計画の検討概要 これまでの河川再生に向けた行動 神代川周辺の歴史・景観資源の確認 現地視察 今後の進め方について 	
	第1回 神代川ワークショップ	平成24年1月31日	<ul style="list-style-type: none"> 河川再生計画の概要説明 これまでの経緯と事例紹介 昔の神代川を語る これからの神代川を語る 	
	第2回 神代川河川再生計画検討委員会	平成24年3月9日	<ul style="list-style-type: none"> 前回検討会のおさらい 第1回ワークショップ開催報告 小学校アンケート実施報告 重点課題抽出と再生目標(案)の検討 河川再生メニュー(案)の検討 今後の進め方について 	
平成24年度	第2回 神代川ワークショップ	平成24年12月3日	<ul style="list-style-type: none"> 神代川河川再生計画検討委員会状況 神代川周辺の歴史について 班に分かれての討論 	
	第1回 神代川河川再生計画検討会 (ワーキンググループ)	平成24年12月13日～14日	<ul style="list-style-type: none"> 第2回委員会課題の対応 ワークショップ結果の報告 高千穂の歴史と神代川のとの関わりについて講話 高千穂町のまちづくりの報告 まち、みちづくりの進め方の講話 今後の進め方について確認 	
	第3回 神代川ワークショップ	平成25年3月3日	<ul style="list-style-type: none"> 神代川河川再生計画検討委員会状況 天真名井の湧水再現 グループ討議 	
平成25年度	第4回 神代川ワークショップ	平成25年6月15日	<ul style="list-style-type: none"> 河川再生計画の検討中間報告 荒立神社宮司による周辺施設説明 周辺施設の現地調査 意見発表 	
	第3回 神代川河川再生計画検討委員会	平成25年7月11日	<ul style="list-style-type: none"> 第2回委員会及び計画検討会の課題対応 ワークショップ結果の報告 意見交換 	
	第2回 神代川河川再生計画検討会 (ワーキンググループ)	平成25年7月12日	<ul style="list-style-type: none"> かわまちづくり計画について 	
	第3回 神代川河川再生計画検討会 (ワーキンググループ)	平成25年12月19日	<ul style="list-style-type: none"> 前回検討会のおさらい かわまちづくり計画について これまでの課題対応状況 	
	第4回 神代川河川再生計画検討委員会	平成25年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> 前回検討会のおさらい かわまちづくり計画について これまでの課題対応状況 	

1. これまでの経緯

神代川かわまちづくり計画に関わる検討委員会等における検討内容 (2 / 2)

年度	検討会名	実施日	概要	備考
平成26年度	第1回 神代川かわまちづくり推進協議会	平成26年5月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・神代川かわまちづくり推進協議会の立ち上げ ・神代川かわまちづくり計画等の説明 ・他地区での事例紹介(桑子先生) 	
	第2回 神代川かわまちづくり推進協議会 (第1回ワークショップ)	平成26年7月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・神代川かわまちづくり計画全体イメージの理解 ・ワークショップ名称の決定 「神代川かわまちづくり八百万神の会」 	
	第3回 神代川かわまちづくり推進協議会 (第2回ワークショップ)	平成26年9月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・大まかな河川形状や遊歩道等の整備方針を考える ・島谷先生による模型作成の指導 地元住民も参加して実施 	
	第4回 神代川かわまちづくり推進協議会 (第3回ワークショップ)	平成26年10月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・班別協議結果のすり合わせ ・細部のデザインについて考える ・ワークショップにおける班別の中間取りまとめ 地元住民も参加して実施 	
	第5回 神代川河川再生計画検討委員会	平成26年11月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップにおける検討結果(中間)の確認 ・ワークショップにおける今後の検討内容について ・地質調査結果 ・水源の確保について ・今後に向けた方向性の確認 	
	第5回 神代川かわまちづくり推進協議会 (第4回ワークショップ)	平成27年1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの結果整理 ・委員会における指摘事項 ・かわまちづくりメニューの再確認 	
	第6回 神代川かわまちづくり推進協議会 (第5回ワークショップ)	平成27年2月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・整備イメージの最終確認 ・維持管理体制の確認 	
	第6回 神代川河川再生計画検討委員会	平成27年2月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会における指摘事項 ・ワークショップにおける検討結果の確認 ・事業の進め方 	
平成27年度	第7回 神代川かわまちづくり推進協議会	平成27年5月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・景観模型(H26年度成果)の確認 	
	第8回 神代川かわまちづくり推進協議会 (第6回ワークショップ)	平成27年7月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・景観模型(H27年度九大修正)の確認 ・細部デザインの方向性の確認 	
	第9回 神代川かわまちづくり推進協議会 (第7回ワークショップ)	平成27年10月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・景観模型(H27年度九大修正)の確認(中間) ・景観模型(1/100)を用いた予備試験の紹介 ・細部デザインの検討について 	
	第7回 神代川河川再生計画検討委員会	平成27年10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ成果や景観模型の報告 ・景観模型を用いた予備試験の紹介及び1/50水理模型実験進捗報告 ・細部デザイン検討状況報告 	
	第10回 神代川かわまちづくり推進協議会	平成27年11月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・1/50水理模型実験の中間報告 ・細部デザイン(護岸、河床、管理用通路)の決定 ・植栽計画の検討 ・起工式イベントに関する意見交換 	

2. 前回検討委員会で出された課題対応状況

H27.10.21 第7回神代川河川再生計画検討委員会での意見など

第7回委員会での意見・回答

項目	意見・回答
河川の形状について	<ul style="list-style-type: none"> ・前の模型に比べて、だいぶ良くなった。水はねなどが配置され配慮が細やかである。子供たちが遊びやすくなる。 ・蛇行させて水を溜めながら流すことは、水生生物などが棲みやすくなり良いことである。河川生態系として良い方向に向かうことが期待でき、いい川になる案になっている。ただし、水はね等障害物を置くと治水上の問題ともなり得るので、<u>1/40の模型実験で確認が必要</u>である。 ・みお筋は固定しない。落差工のところで一部低いところをつくり、流れが集まるようにしたいと考えている。 ・治水安全度を確保することを前提とした上で、川を蛇行させる現案で了解する。
護岸・その他施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸は空積みにするのか練積みにするのか？河床はコンクリートを剥がして岩を出すのか？ ⇒護岸は練石積みで、河床はコンクリートを剥がすと水が地下に浸透して無くなるため、岩が出ない箇所はコンクリートを打つ。 ・護岸については、石の目地を深めにするのが良い。 ・伊勢神宮の石積みが推奨案の野面石の乱積みであることから、神代川に良いのではないかと考えている。 ・現場の近くで天真名井の雰囲気合いそうな石材が全体量の3~4割程度確保できそうである。 ⇒石材が足りなさそうなので、上流の河床は無理して石張りとしなくても良いと考えている。河床に岩が出なくてもコンクリートで岩盤風にして、下流とイメージを合わせることも良いと考えている。 ・中央の橋は、流木が引っかかるから外したと思うが、上下流の橋から離れているので、渡れるように飛び石などをあると良い。 ⇒落差工と兼用で飛び石のようなものを造る予定である。 ・土系舗装の管理用通路を両岸につくる計画である。左岸は車が通れるように3m、右岸は人が歩ける程度の幅を確保する。
樹木について	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木がたくさん植えてあるが、どのような考えか？ ⇒伊勢神宮の五十鈴川をイメージしている、樹木を増やすことで、草の量が減る。観光客が来るので、緑の中を歩くのが良いと考えている。
草刈りについて	<ul style="list-style-type: none"> ・現計画では、掃除がしにくくなるのではないかと考えている。 落差工のところで草がたまるので、草が取りやすくなるのではないかと考えている。草がたまる3年くらいで生物の棲みかになるので、無理して草をとる必要もない。
天真名井前について	<ul style="list-style-type: none"> ・天真名井のところの護岸については、両岸とも同じ石積みのデザインが良い。 ・現在のところ、パラペットをとって河床を上げ、水に近づける計画である。 ⇒神事に使うので、石畳のところは浸からない方が良い。
夜泣き石について	<ul style="list-style-type: none"> ・石についてカワニナを枕に入れると夜泣きが治まるという言い伝えがあると聞いたが、夜泣き石は昔は川の中にあったのか？ ⇒昔の夜泣き石は、荒立神社の宮司によると、川底から1.5m程度上にあり、川の中にあつたわけではないとのこと。川のカワニナが夜泣き石のところまで這い上がってきたと思われる。
児童公園について	<ul style="list-style-type: none"> ・児童公園として残すのであれば、川に近づけるような仕組みが必要ではないか。 ・今の児童公園は暗いので、子供たちが遊ぶにはあまり良いところではない。 子供が遊ぶには、上流右岸の2軒の空屋を公園にした方が良いのではないかと考えている。 ⇒空屋を公園にすれば、周辺の散策の出发点になるので良い。休憩場所としても良い。 ⇒車での進入方法も含めて、空屋の有効活用を検討することとする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・九州大学で1/40スケールの水理模型実験を実施する。12月中旬の委員会には結果報告できるようにする。 ⇒委員の方々も九大に行つて、水理模型実験の見学をすれば良いのではないかと考えている。 ・本川の五ヶ瀬川(延岡市)では、五ヶ瀬川かわまちづくりを行っているのだから、交流を行つたら良いのではないかと考えている。 例えば、五ヶ瀬川(延岡市)でイベントがあれば高千穂から参加し、神代川の起工式に延岡からも参加してもらうことなど。

第7回委員会の様子



2. 前回検討委員会で出された課題対応状況

H27.10.21 第7回神代川河川再生計画検討委員会での課題及び対応状況

河道の全体デザイン、護岸・河床・散策路の細部デザインの方向性について、概ね了承。今後の課題及び対応状況は下表のとおり。

項目	意見を踏まえた課題	対応状況
河川の形状について	<ul style="list-style-type: none"> 治水安全度を確保することを前提とした上で、川を蛇行させる現案で了解する。但し、水はね等障害物を置くと治水上の問題ともなり得るので、大スケールの模型実験で確認が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 九州大学において、1/50スケールでの水理模型実験を実施。本日その結果を報告。
護岸・その他施設について	<ul style="list-style-type: none"> 護岸については、伊勢神宮の石積みが野面石の乱積みであることから、神代川に良いのではないかと。護岸に使用する石材の確保方を検討すること。 河床については、岩が出なくてもコンクリートで岩盤風にして、全体のイメージを合わせる。 左右岸の管理用通路の位置付け及び幅員等を明確にする。散策路としての位置づけについては、県と町で調整すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 護岸は、野面石の乱積みで決定し、詳細設計に着手。護岸石材は、近傍の廃道となった県道の残地に置いてあるものを使用予定。但し、全体量を確保することはできないことから、残りの入手先については、県内確保を目指して調査中。(現時点で、大分県国東市では確認済) 河床は、掘削して岩がでる箇所については岩河床、岩が出ない場合は岩河床風のコンクリート河床で決定し、詳細設計に着手。 管理用通路は、左岸をメインに考え車両が通行できる幅員3mを確保。右岸は人が歩ける1m程度を確保する計画。用地測量結果等を踏まえ、管理用通路の線形について検討中。
樹木について	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢神宮の五十鈴川のイメージを目標に置きつつ、樹木の配置計画を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 植樹計画の基本的な考え方について、前回ワークショップで確認。樹種や植樹の実施主体等について、今後、高千穂町と調整。
天真名井前について	<ul style="list-style-type: none"> 天真名井前のところの護岸については、両岸とも同じ石積みのデザインが良い。 パラペットをとって河床を上げ、水に近づける計画となっているが、神事に使うので、石畳のところは浸からない方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 天真名井前の護岸について、両岸共に野面石の乱積みのデザインに統一することとし、詳細設計に着手。 水理模型実験結果を踏まえ、石畳が浸水しないような方策を検討中。(例えば、転落防止柵の基礎兼用として、HWLの高さまでコンクリート壁を立ち上げる。)
夜泣き石について	<ul style="list-style-type: none"> 夜泣き石の移設場所を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 蛇行部左岸水裏部に移設する方向で検討中。(地元意見)
児童公園について	<ul style="list-style-type: none"> 児童公園の活用方法を検討。 車での進入方法も含めて、右岸にある空屋の有効活用を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童公園の活用方法について、高千穂町のまちづくりの中で検討していく。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 委員の方々も九大に行って、水理模型実験の見学をすれば良いのではないかと。 本川の五ヶ瀬川(延岡市)では、五ヶ瀬川かわまちづくりを行っているのので、交流を行ったら良いのではないかと。例えば、五ヶ瀬川(延岡市)でイベントがあれば高千穂から参加し、神代川の起工式に延岡からも参加してもらうことなど。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、企画中。 国土交通省、延岡市と今後調整。

4 . 細部デザインの決定 (護岸、河床、管理用通路) ・ 検討 (植栽計画)

細部デザインの決定

これまでのWSや委員会での意見を踏まえて、護岸、河床、管理用通路のデザインを決定。



4 . 細部デザインの決定 (護岸、河床、管理用通路) ・検討 (植栽計画)

護岸のデザイン

天真名井前、及び上流 (蛇行部内側以外) : 野面石の乱積み 神話の里に似合う昔ながらの積み方で護岸を再生する。
蛇行部内側 : 隠し護岸の上に覆土して水際に緩やかにすりつける 水当たりの弱い箇所で水辺に近づける場所を設ける。
児童公園前両岸 : 修景パネル 等 コンクリート壁を壊さず壁面を修景する。



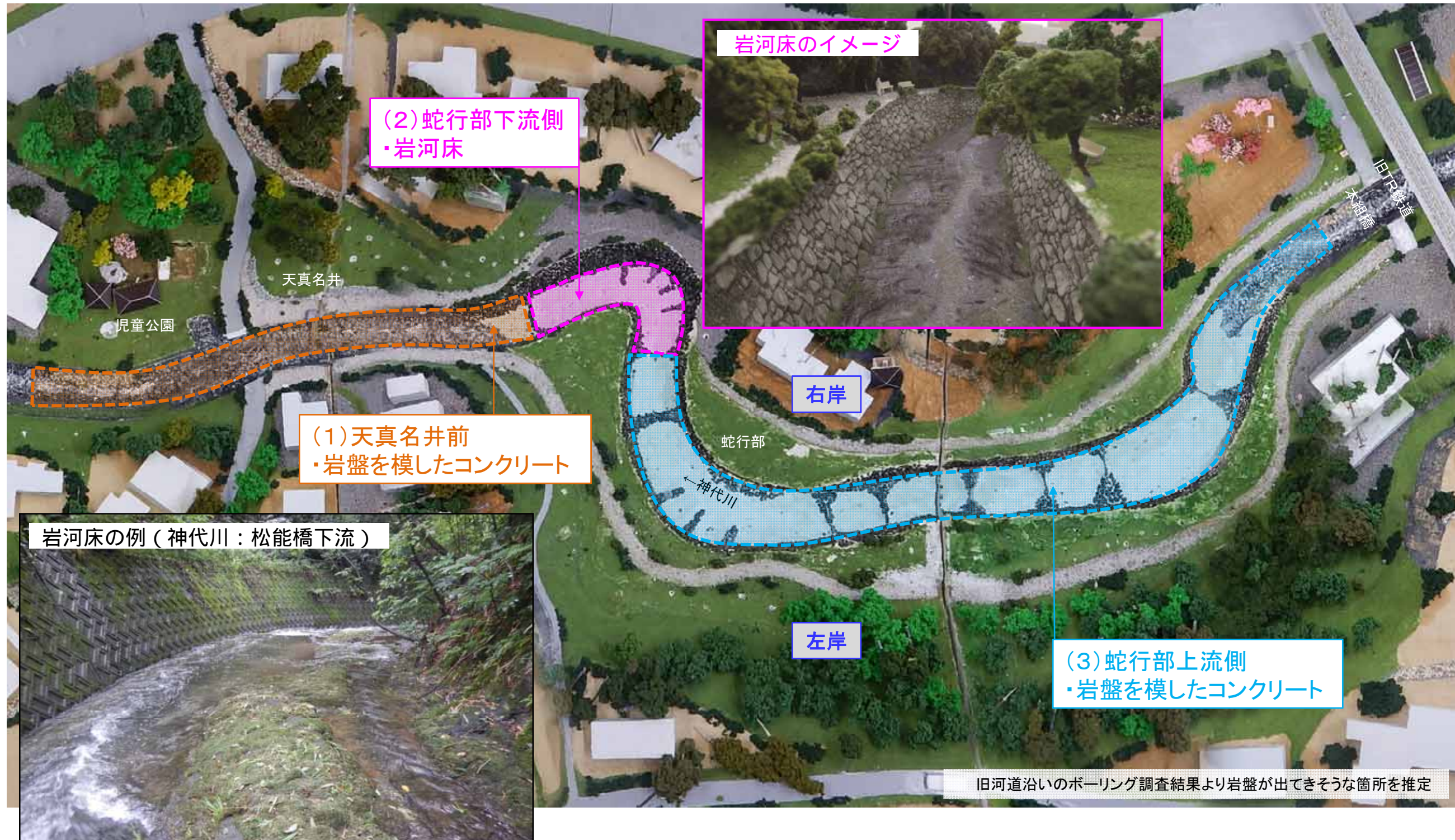
4. 細部デザインの決定（護岸、河床、管理用通路）・検討（植栽計画）

河床のデザイン

掘削後に岩盤が出てきたら岩河床

掘削後に岩盤が出てこなければ岩盤を模したコンクリート

昔の河床に近づける。



4 . 細部デザインの決定（護岸、河床、管理用通路）・検討（植栽計画）

管理用通路のデザイン

天真名井上流側：土系舗装 くしふる神社～宮地嶽社の遊歩道と同じような雰囲気にして、散策ルートの連続性を確保。

天真名井前両岸：現況のまま（右岸：石畳・コンクリート舗装、左岸：コンクリート舗装）

【参考】・管理用通路（HWL＋余裕高60cm以上に設置）と散策路（設置条件なし）のルートは検討中 ※2つの通路の兼用は可
・管理用通路の幅員は左岸側3m（管理用車両通行可）、右岸側1m程度で計画



4 . 細部デザインの決定（護岸、河床、管理用通路）・検討（植栽計画）

植栽計画の検討

樹木の樹種や配置の考え方について、概ねの方向性を検討。



4 . 細部デザインの決定 (護岸、河床、管理用通路) ・ 検討 (植栽計画)

植栽計画 (1 / 3)

樹木の現況 : アラカシ、イチイガシ、スジダイ、ケヤキ、イチヨウ、カヤノキ、スギ、タブノキ、モチノキ、ヤブニッケイ、ヤブツバキ、モミジ類など
 樹種の選定 : スギ、イチヨウ、ケヤキ、オガタマノキ、モミジ類 既存景観との調和や散策ルート of 連続的な雰囲気演出

竹林
スギ・落葉樹混生

常緑・落葉混交林

スギ

ケヤキの巨樹
常緑・落葉混交林

スギ
常緑・落葉混交林

イチヨウ

モミジ

神代川周辺の樹木の現況

天真名井

荒立神社

くしふる神社

天岩戸神社

スギ林

オガタマノキ

選定樹木			
樹種名	樹形	概要	町内での分布状況
スギ		常緑の高木 最も普通に植林され、 神社や寺院の境内に多 く植えらる。直幹性で 樹高30~40m、胸高直 径2m内外に達する。	<ul style="list-style-type: none"> ・くしふる神社 ・高千穂神社 (県指定天然記念物) ・下野八幡神社 ・上野神社 ・菊の宮神社 ・布平中畑神社
イチヨウ		落葉の高木 街路樹、庭木、社寺の 境内に多く植える。直 幹性で樹高30m、胸高 直径2.5mに達する。	<ul style="list-style-type: none"> ・下野八幡神社 (国指定天然記念物) ・下押方地藏尊 ・河内熊野鳴滝神社 ・椎屋谷神社 ・岩戸五ヶ村 ・堂ノ川泉福寺
ケヤキ		落葉の高木 川岸に点在し、また社 寺の境内に植えらる。 直幹性で樹高50m、胸 高直径2.7mに達する。	<ul style="list-style-type: none"> ・下野八幡神社 (国指定天然記念物) ・天岩戸神社 ・岩戸落立神社 ・天真名井(町指定保護樹木、 宮崎県巨樹100選) ・本組獄宮神社
オガタマノキ		常緑の高木 街路樹、庭木、神社の 境内に植えらる。直 幹性で樹高20m、胸高 直径1mに達する。2~4 月頃、香気の強い帯黄 白色の花を付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・大字岩戸 (天岩戸神社境内) ・町木
モミジ類		落葉の高木 庭園樹、添景木として 植栽される。幹は斜幹、 株立ち状が多い。樹高 10~15m、胸高直径50 ~60cmに達する。秋季 の紅葉が美しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・大字岩戸字黒淵

4 . 細部デザインの決定 (護岸、河床、管理用通路) ・ 検討 (植栽計画)

植栽計画 (2 / 3)

■ 樹木配置の基本的な考え方

- ・ 工事に影響のない周辺の樹木は、基本的に保全する。
- ・ 河岸の樹木は、枝が川に張り出すように留意して樹木を配置する。
- ・ 単調な散策路にならないように、樹木量に粗密をつける。
- ・ 天真名井やくしふる峯等の周辺の既存樹木との連続性に配慮する。
- ・ 散策路から宅地擁壁や住宅方向を見たときに目隠しになるように樹木を配置する。
- ・ 管理用通路(散策路)から川やくしふる峯への眺望を確保できるように樹木を配置する。
- ・ 天真名井下流橋から上流方向を見たときにアイストップとなるように樹木を配置する。



理想とするイメージ(伊勢市:五十鈴川)



蔭かさや静けさが感じられる河岸の樹木配置の例(三島市:源兵衛川)
キーワード: 枝の張り出し、覆われ感、静かな水の流れ



開放的な水辺空間での樹木配置の例(三島市:源兵衛川)
キーワード: 親水、木陰、アイストップ、開放的、せせらぎ

4. 細部デザインの決定（護岸、河床、管理用通路）・検討（植栽計画）

植栽計画（3 / 3）

樹木配置計画案



手前の張り出した枝を保全し、奥に樹木を配置して五十鈴川のような風景に近付ける（護岸・河床も修景）



河川改修後も周辺の住宅や擁壁が目立たなくなるように樹木を配置する



川への眺望がひらける開放的な道（樹木を“粗”に配置）



神社の参道やくしふる峯の細道のような雰囲気（樹木を“密”に配置）

5. 神代川の河川環境について

調査概要

- 神代川(天真名井地区)の河川整備に先立ち、当該河川に生息・生育する生物調査を実施しました。
- 調査範囲は下図のとおりで、上流は一ノ瀬橋上流付近から下流は自然河川区間の滝がある箇所までを対象としました。
- 調査項目は、「魚類」、「底生動物」、「両生類・爬虫類・哺乳類」、「鳥類」、「植物」、「陸上昆虫類」です。



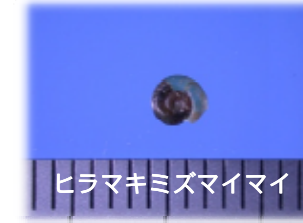
魚類 【夏季、秋季】

- 魚類は、カワムツ、タカハヤ、ウグイ、ミナミメダカ、ドンコの5種が確認されました。
- 優占種はカワムツ、タカハヤで100個体以上確認されました。
- 重要種はミナミメダカが確認されました。出水時に上流の水田から流れ落ちてきたことが考えられます。



底生動物 【夏季】

- 底生動物は、水生昆虫類(カゲロウ類、トビケラ類)を中心に57種が確認されました。
- 重要種はヒラマキミズマイマイ、オオアメンボの2種が確認されました。重要種ではありませんが、河川のシンボリックな種となりやすいゲンジボタルの幼虫も確認されました。



両生類・爬虫類・哺乳類 【夏季、秋季】

- 両生類は、アカハライモリ、ニホンアマガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエル、カジカガエルの6種が確認されました。
- 爬虫類は、トカゲ類やヘビ類など合計5種が確認されました。
- 哺乳類は、コウベモグラ、ノウサギ、アカネズミ、テン、イタチ属、ヤマカガシの5種が確認されました。



鳥類 【夏季、秋季】

- 鳥類は、水辺・草原・集落・樹林などで見られる種が合計27種が確認されました。
- このうち、神代川の水辺でよく見られる種として、キセキレイ、セグロセキレイ、カワガラスなどが確認されました。
- 重要種はコシアカツバメとオオルリの2種が確認されました。



植物 【夏季、秋季】

- 植物は、草地・市街地周辺・河岸などで普通に見られる種を中心に合計275種が確認されました。
- 上流区間は、カワラケツメイ等の草地性に生育する種、改修区間は、オンロイバナ等の市街地周辺に生育する種、下流区間は竹林や針葉樹林で覆われる樹林環境となっています。
- 重要種は、ホソバオグルマ、ナガミノツルキケマン、アカササゲの3種が確認されました。

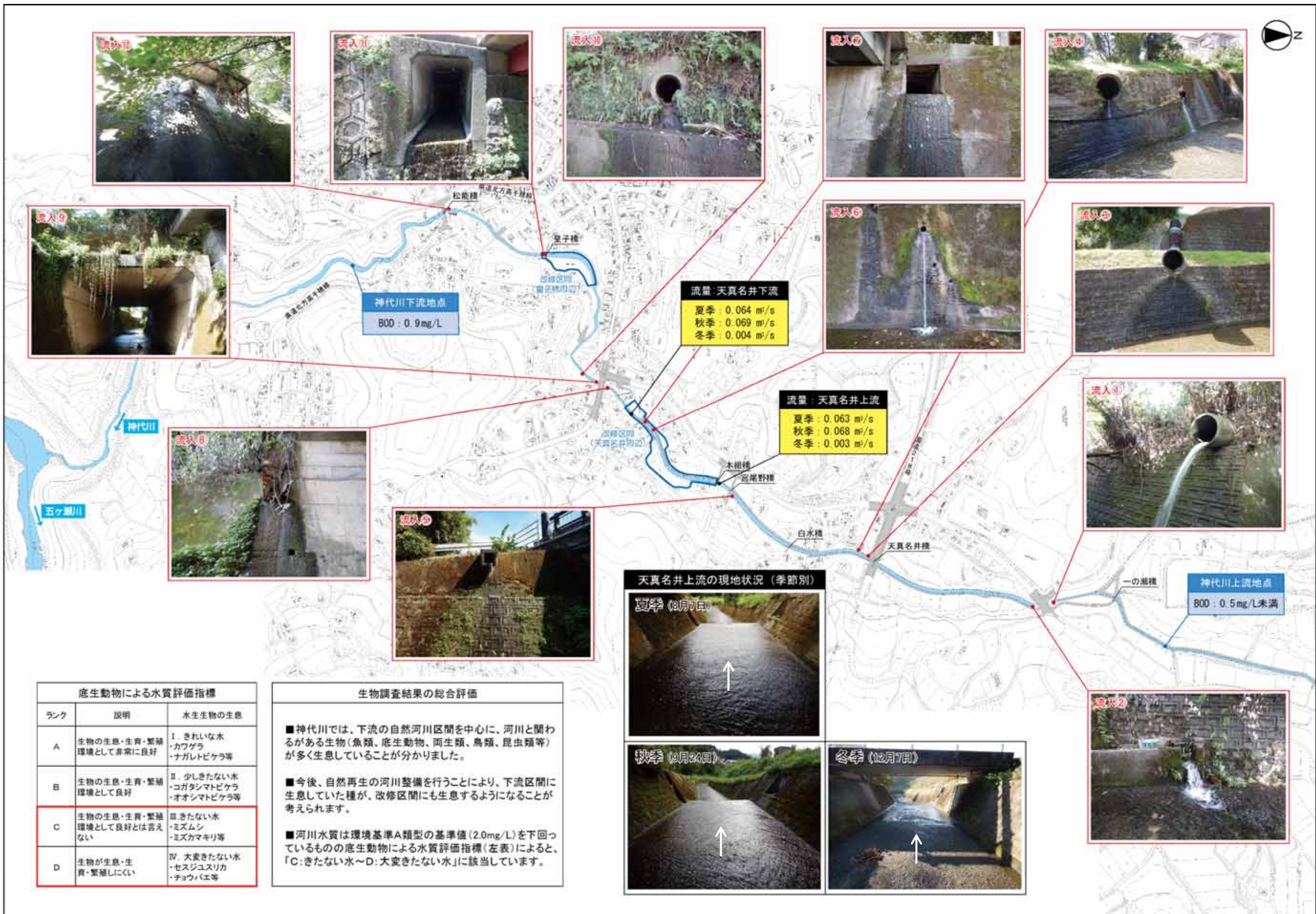


陸上昆虫類 【夏季、秋季】

- 陸上昆虫類は、トンボ類・バッタ類・チョウ類・コウチュウ類など合計358種が確認されました。
- このうち、水辺との関わりが強い種として、ハグロトンボ、オニヤンマなどのトンボ類、ヒメアメンボなどのアメンボ類、ウスイロシマゲンゴロウなどが確認されました。



5. 神代川の河川環境について



6 . 今後の予定

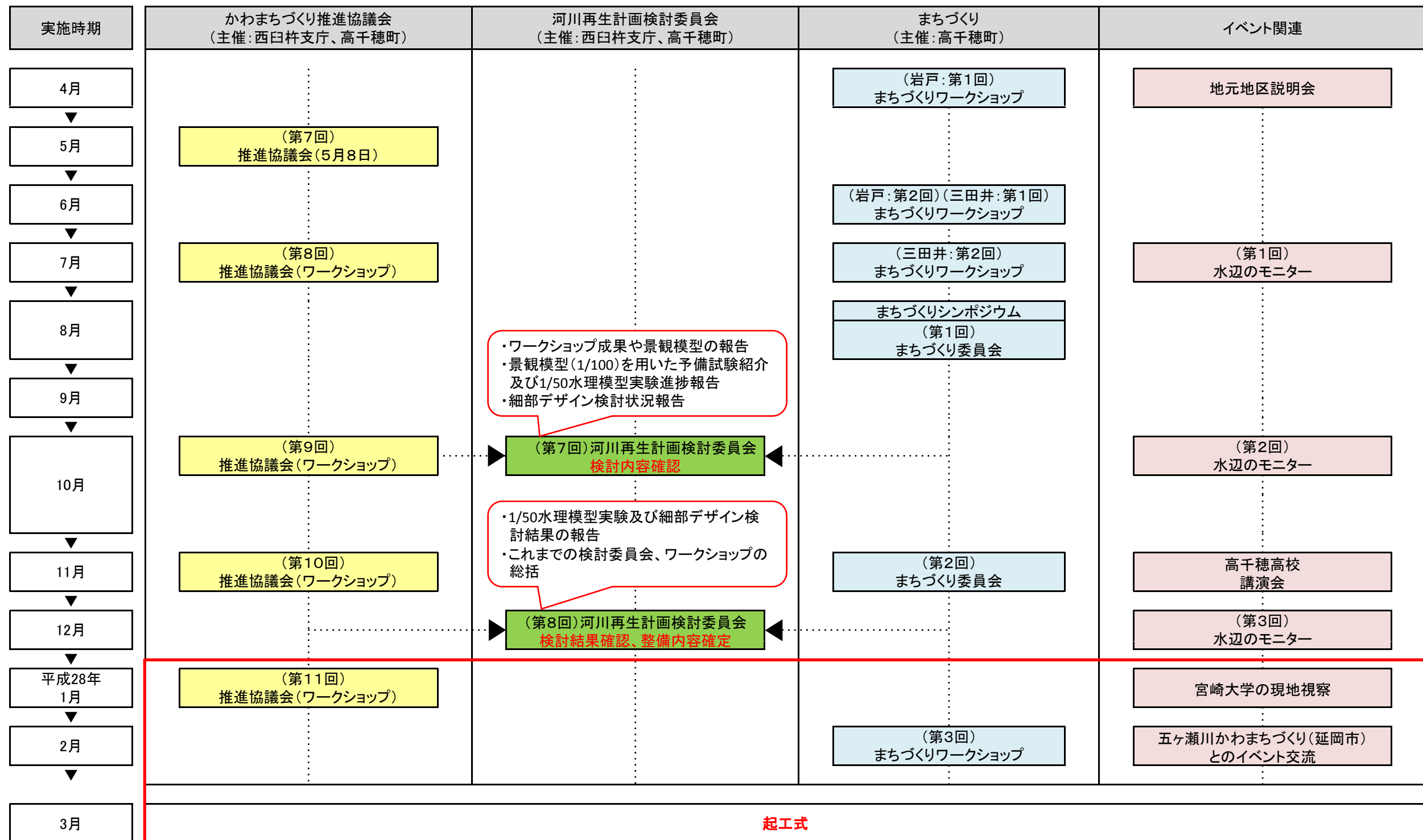
今後の予定

1/50水理模型実験の結果を反映した景観模型、及び細部デザインを確認する。
平成27年3月に開催する起工式イベントの内容を決定する。

検討会名	実施時期(予定)	内 容	
第8回 神代川かわまちづくり推進協議会 (第6回ワークショップ)	平成27年7月16日	・1/100景観模型の確認(初期) ・細部デザインの方向性の説明	終了
第9回 神代川かわまちづくり推進協議会 (第7回ワークショップ)	平成27年10月7日	・1/100景観模型の確認(中間) ・景観模型(1/100)を用いた予備試験の紹介 ・細部デザインに関する検討	終了
第7回 神代川河川再生検討委員会	平成27年10月21日	・ワークショップ成果や1/100景観模型の報告 ・1/100景観模型を用いた予備試験の紹介及び、1/40水理模型実験進捗状況報告 ・細部デザイン検討状況報告	終了
第10回 神代川かわまちづくり推進協議会 (第8回ワークショップ)	平成27年11月25日	・1/50水理模型実験の中間報告 ・細部デザイン(護岸、河床、管理用通路)の決定 ・植栽計画の検討 ・起工式イベントに関する意見交換	終了
今回 第8回 神代川河川再生検討委員会	平成27年12月16日	・1/50水理模型実験結果の報告 ・細部デザイン検討結果の報告 ・これまでの検討委員会、ワークショップの総括	
第11回 神代川かわまちづくり推進協議会 (第9回ワークショップ)	(平成28年1月)	・1/100景観模型の確認(最終) ・起工式イベントに関する意見交換 等	

6 . 今後の予定

平成27年度神代川かわまちづくり関連事業フロー



6 . 今後の予定

今後のかわまちづくりに向けた課題

起工式イベントに関する前回ワークショップでの意見

- ・高千穂小の児童たちに校歌を斉唱してもらおうというのも良いと思う。
- ・整備後に利用が想定されること（水遊びや散策、ランニング等）を、参加者全員でやってみてはどうか。
- ・住民の方々と一緒に植樹をするなど、神代川に愛着を持ってもらうようなイベントが良い。

その他意見

- ・工事期間内に、周辺住民の方々や観光客が参加できるようなイベント（石積みイベント等）も考えてみてはどうか。
- ・子どもたちに改修前後の姿や工事の様子を観察してもらうことは良い環境学習になると思う。
- ・かわまちづくりを実施している五ヶ瀬川下流とのイベント交流も考えていきたい。

次回（平成28年1月）ワークショップにおいて地元を主体とした起工式イベントについて検討し、高千穂町等とも調整の上、内容を決定。

起工式イベントの開催（平成28年3月中旬以降を予定）

次年度

今後のかわまちづくりに向けた検討・実行体制の再構築